

(AO入試Ⅱ)

令和2年度入学試験問題

小論文

(教育学部 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙1枚と下書き用紙1枚を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答は、原稿用紙の正しい使い方に従い、文字や仮名遣いなどを正しく書くこと。また、漢字を適切に使うこと。
6. 解答用紙の指定された欄に、学部名及び受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

問題

資料を読み、その内容に対する理解をふまえて以下の問いに答えなさい。

問い： 目標や評価を数字で示すことにおける課題を指摘した上で、
日本の初等教育における評価の在り方について、自分の
考えを 800 字（25 字×32 行）以内で述べなさい。

注意 本文は二段落構成にし、第一段落には目標や評価を数字で示すことにおける課題を書き、第二段落には第一段階で指摘した課題をふまえた自分の考えを書くこと。

評価、業績、達成度…数字の「測りすぎ」こそが、現代の失敗の原因だ
数字が支配する社会の「落とし穴」

伊藤 亜紗（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授）

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

出典 : 講談社現代ビジネス <https://gendai.ismedia.jp/articles/-/65930>
2019年7月19日付 (一部改変して引用)

以下の注は出題者による。

注

- 1 落ちこぼれ防止法 (NCLB) — 共通テストの目標を達成できなかった場合、連邦政府の介入 (教員人事も含む) を可能とした法律。
- 2 インセンティブ — 目標達成などの成果や努力に応じた見返り。
- 3 共通テスト — 毎年、公立学校の3年生から8年生 (日本の小学校3年生から中学校2年生) に実施される、英語と数学の学力テスト。